

No.194

ちとせ市議会だより



幻想的な世界「氷濤まつり」(末広8丁目 佐藤 一浩 さん撮影)

写真は、昨年の「氷濤まつり」の様子です。ピリッと冷える夜の支笏湖、たくさんの方が訪れ、氷のオブジェが並ぶ幻想的な世界を満喫していました。これからも、千歳の冬の魅力をカメラに収めたいと思います。(撮影者のコメント)

令和3年

第4回(12月) 定例会

目次

- | | | |
|-----------------|-------|----------|
| ● 定例会のあらまし | | 2～4ページ |
| ● 各委員会の活動状況 | | 4ページ |
| ● 一般質問 | | 5～13ページ |
| ● 議決結果等・議員出欠状況等 | | 14～15ページ |
| ● 議会事務局からのお知らせ等 | | 16ページ |

定

例会のあらまし

令和3年第4回定例会は、11月30日から12月13日までの14日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和3年度一般会計補正予算、条例の制定など、報告4件、議案28件、諮問5件、意見案2件が提出されました。

このうち、追加議案として提出された補正予算1件を除く補正予算の議案4件は、13人の委員で構成する補正予算特別委員会を設置して審査を付託しました。また、即決を必要とする議案を除くほかの議案は、関係する常任委員会等に審査を付託しました。

その結果、各議案等は原案のとおり可決、同意し、諮問については可と決定しました。今定例会の主な議案等の内容は、次のとおりです。

補正予算

◆一般会計補正予算(第7回)

歳入歳出予算の総額に
10億9千429万1千円
を追加

主な補正予算の内容

- ふるさと納税推進事業費
4億6千857万3千円
- 環境保全測定機器整備事業費
1千593万5千円
- 障害児給付事業費
9千505万円
- 子ども医療費助成事業費
2千799万9千円
- 特定教育・保育施設給付事業費
2億1千283万4千円
- 新しい生活様式に対応した飲食店等支援事業費
4千291万6千円

- 新しい生活様式に対応した観光創出事業費
1億884万2千円

- 体育施設備品整備事業費
1千315万2千円

- 市営・学校水泳プール改修事業費
1千744万6千円

- 公立大学法人修学支援事業費
1千899万8千円

◆国民健康保険特別会計補正予算(第1回)

歳入歳出予算の総額に
1千50万5千円を追加

主な補正予算の内容

- 国庫支出金等償還金
741万7千円

◆介護保険特別会計補正予算(第3回)

令和4年度債務負担行為に
1千400万千円を追加

補正予算の内容

- 千歳市向陽台区地域包括支援センター運営業務委託契約
1千400万円

◆病院事業会計補正予算(第2回)

- デジタルX線TV装置外
5千720万円

◆一般会計補正予算(第8回)

歳入歳出予算の総額に
32億1千90万5千円
を追加

補正予算の内容

- 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業費
23億3千671万4千円

- 子育て世帯への臨時特別給付(先行給付金)事業費
8億7千419万1千円

主な条例

◆千歳市一般職の任期付職員
の採用及び給与の特例に関する
条例の一部を改正する条例
令和3年8月10日に行われた
人事院勧告に鑑み、本市特
定任期付職員の期末手当に所
要の改正を行うために制定。

◆千歳市職員の給与に関する
条例の一部を改正する条例
令和3年8月10日に行われ
た人事院勧告に鑑み本市職員

の期末手当に所要の改正を行い、及び勤務1時間当たりの給与額の算出方法に所要の改正を行うために制定。

◆千歳市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例
フルタイム会計年度任用職員に係る勤務1時間当たりの給与額の算出方法並びにパートタイム会計年度任用職員の特殊勤務に係る報酬額及び勤務1時間当たりの報酬額の算出方法に所要の改正を行うために制定。

◆千歳市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例
千歳市中心街コミュニティセンターを廃止するために制定。

◆千歳市認定こども園条例の一部を改正する条例
なかよし学童クラブを廃止し、並びにきらきら学童クラブ及びびかびか学童クラブを設置するために制定。

◆千歳市児童館条例の一部を改正する条例
みどり台児童館を設置するために制定。

◆千歳市国民健康保険条例の一部を改正する条例
健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金の支給額に所要の改正を行うために制定。

その他

◆指定管理者の指定
次の指定管理者を指定。

【施設の名称】

千歳市青少年会館

【管理期間】

令和4年4月1日から
令和9年3月31日まで

【指定管理者】

札幌市西区宮の沢1条1丁目1番10号
(公財) さつぽろ青少年女性活動協会
理事長 野崎 清史

◆指定管理者の指定
次の指定管理者を指定。

【施設の名称】

千歳市スポーツセンター

千歳市体育施設(千歳市民球場ほか23カ所)

千歳市開基記念総合武道館

【管理期間】

令和4年4月1日から
令和9年3月31日まで

【指定管理者】

千歳市東雲町2丁目34番地
6

(公財) 千歳市体育協会
会長 駒澤 文雄

◆指定管理者の指定
次の指定管理者を指定。

【施設の名称】

千歳市温水プール

【管理期間】

令和4年4月1日から
令和9年3月31日まで

【指定管理者】

カンセイ・ビーバー共同企業体
代表団体

千歳市流通1丁目3番地の6

協業組合カンセイ

代表理事 曙 嘉輝
ほか1社

◆指定管理者の指定
次の指定管理者を指定。

【施設の名称】

美笛キャンプ場

【管理期間】

令和4年4月1日から
令和9年3月31日まで

【指定管理者】

千歳市流通3丁目4番地の1

(一社) 千歳観光連盟

代表理事 小田 賢一

◆指定管理者の指定
次の指定管理者を指定。

【施設の名称】

千歳市営牧場
千歳市育成畜舎

【管理期間】

令和4年4月1日から
令和9年3月31日まで

【指定管理者】

恵庭市西島松41番2

(公財) 道央農業振興公社
理事長 今村 隆徳

◆指定管理者の指定
次の指定管理者を指定。

【施設の名称】

千歳市東雲会館
千歳市末広会館

【管理期間】

令和4年4月1日から
令和9年3月31日まで

【指定管理者】

千歳市本町3丁目11番地

(公社) 千歳市シルバー人材センター
理事長 牧野 敏彦

◆指定管理者の指定
次の指定管理者を指定。

【施設の名称】

千歳市公共広場(千歳市北大通広場ほか10カ所)

千歳市都市公園(春日公園
その他の街区公園ほか6カ所)

【管理期間】

令和4年4月1日から
令和9年3月31日まで

【指定管理者】

千歳市上長都4番地5
千歳市環境整備事業協同組合
代表理事 荃津 俊爾

◆指定管理者の指定
次の指定管理者を指定。

【施設の名称】

千歳市交通安全教育施設

【管理期間】

令和4年4月1日から
令和9年3月31日まで

【指定管理者】

千歳市本町3丁目11番地

(公社) 千歳市シルバー人材センター
理事長 牧野 敏彦

◆指定管理者の指定
次の指定管理者を指定。

【施設の名称】

千歳市グリーンベルト地下駐車場

【管理期間】

令和4年4月1日から
令和9年3月31日まで

【指定管理者】

タイムズ24株式会社連合体

代表団体

東京都品川区西五反田2丁目20番4号
タイムズ24株式会社
代表取締役 西川 光一

ほか2社

(次ページへ続く)

(前ページから続き)

◆財産の処分

【所在地】

千歳市大和4丁目3番6

【地積】

1万2107平方メートル79

【価格】

4億1千425万8千円

◆市道路線の認定

開発行為により、

09-26南51号道路を認定。

○起点 09-26南50号道路

○終点 09-26南23号道路

人 事

◆次の件に同意

◎固定資産評価審査委員会

委員に

奥村 篤さん (再任)

◆次の件を可と決定

◎人権擁護委員候補者に

中島 巖さん (再任)

須川 康寛さん (再任)

山本 邦江さん (再任)

加賀 誠さん (新任)

温井 文雄さん (新任)

意見書

第4回定例会において、議員提案された意見案2件

を原案可決しました。

◆義務教育費国庫負担制度

堅持・負担率2分の1への

復元、「30人以下学級」など

教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

◆地方財政の充実・強化に

関する意見書

各委員会の活動状況

11月～12月に開かれた各委員会の活動状況をお知らせします。

総務文教常任委員会

▼11月17日(水) 13時

指定管理者候補者選定結果の所管事務調査を報告済みとした。

▼11月24日(水) 10時

桜木長都線(実証運行)の結果と今後の運行方針を含む12件の所管事務調査を報告済みとした。

▼12月1日(水) 13時

指定管理者の指定についてなど、第4回定例会付託議案2件を原案可決とし、史跡キウス周堤墓群整備基本計画(案)の概要を含む6件の所管事務調査を報告済みとした。

▼12月10日(金)

本会議終了後

令和3年度千歳市一般会計補正予算(案)の概要の所管事務調査を報告済みとし、令和3年度行政視察について決定した。

厚生環境常任委員会

▼11月24日(水) 13時

令和3年度千歳市病院事業会計補正予算(案)の概要を含む12件の所管事務調査を報告済みとした。

▼12月1日(水) 13時

千歳市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定についてなど、第4回定例会付託議案6件

を原案可決とした。

▼12月10日(金)

本会議終了後

令和3年度千歳市一般会計補正予算(案)の概要を含む2件の所管事務調査を報告済みとし、令和3年度行政視察について決定した。

産業建設常任委員会

▼11月25日(木) 10時

指定管理者の指定の概要を含む16件の所管事務調査を報告済みとした。

▼12月1日(水) 13時

千歳市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定についてなど、第4回定例会付託議案10件を原案可決とし、1件を継続審査とした。また、千歳市水道事業経営計画(素案)を含む3件の所管事務調査を報告済みとした。

▼12月8日(水)

本会議終了後

継続審査となっていた、指定管理者の指定について

の第4回定例会付託議案1件を原案可決とし、令和3年度行政視察について決定した。

議会運営委員会

▼11月29日(月) 13時

第4回定例会の議事運営について決定し、意見書の提出および議会改革(交流学习会、市民の声を聴く会など)について協議した。

▼12月6日(月)

各派交渉会終了後

第4回定例会2日目の議事運営について決定し、意見書の提出および議会改革(議事運営、議員学習会、市民の声を聴く会など)について協議した。

▼12月13日(月) 11時

第4回定例会最終日の議事運営について決定し、意見書の提出についておよび議会改革(市民の声を聴く会など)について協議した。

問 市から財政支援を受けている団体、地域に密着している団体、現在の指定管理者など、他の応募団体と比較して絶対的に有利な部分を加減点によって平等にして、団体独自の工夫やサービスが評価の主眼となるよう、評価の指針を設けている自治体も多いが、市の選定方法について、不透明であり見直しが必要と考える。現状で十分と考えているのか、定期的に見直しを

指定管理者の選定基準の在り方



ついでにの質問

市政

に

今定例会では、12月7日から10日までの4日間、各党派等からの一般質問が行われました。

これらの質問の中から、主なものを掲載します。

☆ちとせの未来を創る会

松隈 早織 議員

相沢 晶子 議員

☆日本共産党

吉谷 徹 議員

☆日本維新の会・新党大地

丸岡 伸幸 議員

☆無所属

落野 章一 議員

☆自民党議員会

岩満 順郎 議員

飯田 盛好 議員

山口 康弘 議員

松倉 美加 議員

五十嵐 桂一 議員

坂野 智 議員

☆公明党議員団

平川 美由紀 議員

仲山 正人 議員



行っているのか伺う。

答 市長 評価項目は、大きく4つの視点に分け、全部で14の評価項目を設けている。具体的には、団体等に関する事項では、施設の管理運営における業務遂行能力は十分と考えられるか、同規模以上の同種又は類似施設の管理運営業務の実績があるかの評価項目を設け、管理運営に関する事項は、効率的效果的な運営への取組が見られるか、利用者ニーズの把握方法は適切であり、サービスの向上が見込まれるか、利用者への安全配慮については適切な評価項目を設けている。また、事業収支計画等に関する事項では、収支計画及び積算根拠は明確で適切か、独自の工夫等による経費の削減、収入の確

保が図られているかの項目を設け、地域との連携（協働）に関する事項では、地域の実情を把握し、地域への人的・物的貢献の配慮及び地域に密着した活動を行うことができるか、市及び地域との連携及び公共性の担保についての考え方は適切かの評価項目を設け、特に優れている、優れている、普通、劣っている、不適切・該当なしの5段階で評価を行っている。評価基準は、平成18年度に経費削減と事業計画内容を重視する評価項目および配点の見直しを行い、平成24年度は選定評価の点数配分を見直し、サービス向上と地域貢献を重視した配点に変更するなど、適宜、見直しを行い、評価項目や見直しの内容は、所管の常任委員会へ

報告を行い、評価結果はホームページで公表している。

指定管理者のモニタリングの在り方

問 市の指定管理者モニタリングの結果は、結果を次年度にどう生かすのか分りにくい。点数評価にすれば、過去の指定管理者とも相対的に比較が可能であり、評価の透明性が増すと考える。また、市だけがモニタリングを行うのではなく、指定管理者のセルフモニタリング、公募の市民や有識者による第三者評価制度を導入するなど、客観的多角的な視点が必要と考えるが、所見を伺う。

答 市長 市は、千歳市指定管理者モニタリング指針を定め、公の施設管理が、条例や協定等に従った、適切かつ確実なサービスの提供が確保できているかを確認する手段として、モニタリングを実施している。概要として、指定管理者からの報告や、施設所管課による現地調査などのほか、施設利用者の声を客観的に把握するため、指定管理者と市の双方でアンケート調査を行うことで、管理運営の状況やサービスの提供状況などを評価し、必要に応じて改善に向けた指導・助言を行っている。モニタリング結果は、施設所管課が所管の常任委員会へ毎年7月末までに報告を行い、報告後は市ホームページや各施設に掲示し、広く市民に公表しており、指定管理者の管理運営状況を的確に評価できていると考えている。



ちとせの未来を創る会
相沢 晶子 議員

林東公園の整備

問 今秋から、林東公園の複数年にわたる大掛かりな整備が始まったことに対し、周知不足と感じて不信感を持つ市民がいる。これまでの市民への周知方法、回数に問題はなかったか。これからの整備内容と周知について伺う。

答 市長 初めて遊びに来た人でも安心して園内を散策できるように、園路整備や老朽化した施設の更新を行い、自然に配慮しながら見通し良く明

る公園とするため、道路や園路沿いなどの繁茂した樹木の剪定や倒木の恐れがある枯損木などの伐採を行う計画である。これまで、平成30年度に開催したワークショッ

の結果などはホームページに掲載し、ニュースレターを近隣の大和地区や桂木地区に配布して基本方針を周知するとともに、その後の環境調査やワークショッ

に、町内会に回覧を依頼した。今後、より多くの市民に周知するため、ホームページや広報などを活用した周知に努めていく。

小・中・高等学校校外生活指導基準

問 市内小中学生に対する、友人同士の自宅への宿泊を含む外泊の禁止およびカラオケボックス、ゲームセンターの中学生のみの利用を禁止している理由を伺う。特に、ゲームセンターは、昨今、内部が明るくなっており問題を感じられない。道内他市町村では認められているところがあるが、今後、基準の見直しや撤廃は考えていないのか伺う。

答 教育長 友人同士の外泊は、深夜徘徊・窃盗・放火・

飲酒・喫煙により、警察に保護される事例があり、カラオケボックスの利用は、日中でも成人者に対し酒類の提供を行っているなど、個室での喫煙や飲酒等の不健全な行為を行う事例や被害があり、トラブルに巻き込まれないよう、小中学生は保護者同伴として

千歳市教護協会が定める校外生活指導基準は、校外における生活指導の目安、指針として作成されており、その内容は、社会環境や施設

整備の状況などの変化に際し、また、近隣都市の生活指導の状況について確認しながら毎年見直しを行い、各学校の実態に合わせ指導を行っている。教育委員会は、青少年が心身ともに健やかに成長し、社会とのかかわりを自覚しながら自立していくことが大変重要と考えており、その発達段階に応じた取り組みを千歳市教護協会等とともに進めていくことも必要であると考えていることから、今後も、学校、家庭、地域および関係機関等が連携を図りながら、青少年の健全育成に向けた施策の推進に努めていく。

その他の質問 ・千歳水族館内の昇降機の積極的な活用

は、市で行うことは考えていない。②共益費は、共用部分の電気代など、便益を受ける入居者が、かかる費用を共同して負担すべきものであることから、入居者が支払うべき費用を、市が例外的に入居者に代わって徴収し支払いはない。

市営住宅管理



日本共産党
吉谷 徹 議員

問 市営住宅の自治会管理が、高齢で体力的に持たない

など維持困難な悩みを聞く。一方、そうした管理を民間に委託すると費用がかかり、行政側で引き受けても同様と感じるが、確認として、①市で共益費に関わる部分の管理が可能か。②市で管理する場合、生活保護受給世帯や非課税世帯からの共益費に関わる費用の徴収で、減免や免除措置はあるのか伺う。

答 市長 ①公営住宅法により、事業主体である市が、家賃、敷金および割増賃料以外の金品を徴収することは禁止されており、原則として、直接、共益費を徴収できない。例外的に、入居者からの依頼で家賃と区別して徴収し、支払いすることは可能だが、市が代行した場合、蛍光管を取り換える際の委託費用や、納

付書発行など共益費の徴収を代行する事務費用などが加わり、入居者の経済的負担が増加することが予想されるため、入居者間の合意形成や、一部の自治会で同時に徴収している町内会費や会員の親睦に係る費用などの、団地の維持管理に関わる共益費以外の費用の取り扱いを含め多くの課題があることから、現状で

みどり台小学校近隣の歩道整備

問 過日設置された信号からファミリーマート側に向けた道路について、現状、歩道は片側のみの状態である。事故があつてからでは遅いので、周辺の危険箇所を開校前に整理し、できる限り児童や周辺住民の交通事故への危険性を

なくしていく、予防的対処や考え方が必要に思う。そこで、①該当箇所周辺の危険性に關して、市の認識。②該当箇所周辺を含む通学区域の今後の対策を伺う。

答 市長 ①南28号道路で片側歩道となっている区間は、北側が市街化調整区域となっており、一般の住宅は建設できないことから、設置の必要

性や費用対効果が小さいことなどにより、南側にのみ歩道を設置している。また、道路の規格や構造に關しては、歩道幅は一般部で5メートル、最も狭い橋梁部でも4・5メートルあり、道路構造令における、歩行者交通量の多い歩道の整備基準を満たしていることや、車道部と歩道部の境界に、高さ20センチメートル

の縁石による段差を作り、歩道部への車両の乗り上げを防止することにより、歩行者の安全を確保している。②みどり台小学校開校準備委員会において、みどり台小学校の通学路が決定されたことを踏まえ、市では、本年10月に信号機と横断歩道が設置された南28号道路と東5線の交差点に車止めを設置した。今後は、

来年2月に実施が予定されている、みどり台小学校新1年生入学説明会で、市の交通安全教育指導員から保護者に対し、各家庭における通学の練習をお願いするほか、今年度中に、スクールゾーン標識の設置や交通指導員の配置場所の決定など、引き続き、児童の通学時の安全確保に向けて対応していく。



日本維新の会・新党大地
丸岡 伸幸 議員

あつたか灯油の申請

問 灯油の価格が9週連続で値上がりし、ガソリン価格も10週連続の値上げが続く、今後も値上げや上げ止まりが想定される。冬に欠かせない灯油代が家計を圧迫し、厳しい状況となっている世帯は、収入の減った自営業者や会社員、非正規労働者の世帯と違うことから、あつたか灯油事業申請の対象者は、市の定める6項目の要件以外に、生活に困っている方、収入の減少

した方も申請できるように改善を求めるが、所見を伺う。

答 市長 あつたか灯油事業は、低所得の高齢者、障がい者および、ひとり親世帯に対し、冬季の生活支援として灯油等の購入費の一部を助成することにより、生活の安定を図ることを目的として、平成27年度から継続して実施している市の独自事業である。

新型コロナウイルス感染症の影響により減収となっている世帯に対しては、生活困窮者自立支援法による住居確保給付金事業や、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業による支援金の支給のほか、社会福祉協議会が行っている緊急小口資金や総合支援資金の特例貸付事業などにより、支援を行って

おり、あつたか灯油については、現在、対象要件の変更は考えていない。

問 千歳市職員1087名のうち、153名は千歳市外に居住登録し、市から給与を頂きながら税金等は他自治体に納めているが、これでは、市民からの生活課題をくみ上げ、政策や市民サービスに反映できないと思う。地方公務員法第30条を鑑みると、市内居住を規定することは憲法違反にならないと考えるが、今後、居住条件を設ける必要性について所見を伺う。

答 市長 職員自身が本市の一市民としての生活を営むなかで、地域の特性や特色を把

握するとともに、身をもって地域課題に触れ、市民サービスの向上に取り組んでいくことは、自治体職員としての望ましさあるべき姿であると考えている。また、自然災害など緊急的な応対が必要な場面では、職員による迅速な対応が不可欠であり、速やかに参集しうる危機管理体制の構築が必要なこと、重要な政策課題である人口増加対策に率先して取り組む姿勢を示すこと、税金など財政的な影響の面からも職員の市内居住は重要なことと考えている。

市内に居住することは、職員もその重要性を認識していると考えますが、家族や家庭の事情など、やむなく市外に居住せざるを得ないことがあることから、実状として一定程

度の市外居住者がいるが、人材確保が困難な医師などの職を除き、新規採用職員の募集にあたっては、採用後の市内居住を要件としているほか、在職者も、研修や周知啓発等のさまざまな機会を通じて市内居住の重要性について理解を深め、また、その実践に向けて取り組んでいる。消防職員は、自然災害のみならず、大規模な火災や事故が発生した場合には、これらに対応するための人員をより迅速に、より確実に確保しなければならぬことから、千歳市消防職員任用規程において市内居住を定めており、市内居住率は100パーセントである。

その他の質問
・運送事業者の補助 ほか



無所属
落野 章一 議員

ケアハウス（軽費老人ホーム）

問 人生の最後、終の住処については誰もが無視できないテーマだ。自然に恵まれ年金だけで入れると、北海道のケアハウスは人気だ。平均13万円の厚生年金なら大丈夫、5万円台の国民年金でも手持ちの資産や生活保護を使えば手がとどく。千歳のケアハウスの特徴と有料老人ホームやサ高住との違い、特色を伺う。

答 市長 ①平成18年5月1日に、定員50名の自立支援型



自民党議員会
岩満 順郎 議員

ゼロカーボン宣言都市

問 国は、2030年に温室ガスを2013年度から46パ

と介護型を有するケアハウスふくろうの園が開設されている。利用料は、医療費や個室での光熱水費、電話料などは実費負担となり、介護型では、介護保険サービス利用分の自己負担額が必要となる。基本利用料は、収入額により、自立支援型の月額基本利用料の合計額は8万9190円から15万8610円までの範囲、介護型は8万9190円から12万6310円までの範囲となっている。ケアハウスふくろうの園の特徴は、医療と介護が安定的で継続的なサービスの提供のため、協力医療機関を指定し往診を行ってもらう対応を行うとともに、隣接するデイサービス事業所や特別養護老人ホームなども連携し、入居者の身体状況に

じたサポートを行っている。さらに、入居者の交流や孤独感の緩和などを目的として、誕生会や季節ごとのイベントを開催し、事業所内保育施設である千歳みどりの保育園との交流も定期的に行うなど、身近な地域社会で安心して生活を送ることができる環境づくりにも配慮している。有料老人ホームとサ高住では、入居者への公的補助による負担軽減がないのに対し、ケアハウスでは、北海道の軽費老人ホーム運営費補助金により入居者への負担軽減が図られていることも特色であると考えている。

医療的ケア児

問 看護師などによる人工呼

吸器や痰の吸引を日常的に必要とする医療的ケア児は、ここ10年で1万人増えて2万人となった。従来、教師の訪問授業を受けていたが、医療的ケア児支援法が成立し、医療的ケアを受けながら健常児と学校で集団教育を受ける体制を自治体が整えることが責務となった。数年前質問した時には、市内に二人の医療的ケア児がいた。①市内の小中学校や保育所の現状はどうか。

答 市長 ①現在、小学校3名、中学校1名、計4名の医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍し、千歳市立小中学校医療的ケア実施要領などに基づき、保護者の同意を得て、主治医の指示書により学校看護師が適切に対応している。

なお、市内の教育・保育施設に医療的ケア児の在籍はない。②医療的ケア児は、必要な医療的ケアの内容や心身の状況、生活実態などが多様であり、配慮を要する点も多いため、保護者や主治医、関係者などからの情報収集と、それらを踏まえた支援策の検討など、関係する複数の分野が緊密に連携して取り組む必要性が特に高いことが課題と考えている。市は、平成30年度に千歳市医療的ケア児支援協議会を設置しており、この協議会を中心に、情報の収集や共有、意見交換、支援策の検討など、関係分野が連携した一体的な取組を強化することにより、医療的ケア児が地域で安心して暮らせる、切れ目のない支援に努めていく。

ーセント削減することを目指し、本年5月22日の気象サミットにおいて表明した。北海道地球温暖化対策推進計画では、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指すことを表明し、本年3月に北海道地球温暖化対策推進計画（第3次）を策定して、気象変動問題の解決と世界に誇る北海道の創造に向けて、

再生可能エネルギーと森林など吸収源を最大に活用し、脱炭素化と経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進めていくことで、2050年までに環境と経済・社会が調和しながら成長を続ける、北の大地「ゼロカーボン北海道」を実現し、道民が健康で快適に過ごすことができ、真に豊かで誇りを持てる社会を次の

世代につなげるとした。道内の各市町村も、ゼロカーボン北海道の実現に向けた、地域としての取り組みを行っているが、①第7期総合計画と実施計画となる環境基本計画作成段階で、目標となる数値などの検討はしなかったのか、その理由を伺う。②市は、2050年に向けたゼロカーボンへの宣言を検討している

のか。早期に検討してほしいと思うが、見解を伺う。

答 市長 ①市は、2050年までのカーボンニュートラルを目指し、脱炭素社会の形成を意識した中で、第3次千歳市環境基本計画を策定したが、具体的な目標設定は、区域の二酸化炭素排出量や吸収量、再生可能エネルギーの活用

る専門的な基礎調査なども必要なことから、計画の見直しの際に、よく検討していく。
②国際社会の一員として脱炭素社会の実現を目指し、本市の豊かな自然環境を後世に引き継いでいくため、市民や事業者とともに、脱炭素社会への転換や気候変動への危機感を共有する必要があると考えており、ゼロカーボンシティ



自民党議員会
飯田 盛好 議員

葬斎場運営

問 ①火葬料金が、昭和19年から77年間、大人の料金を10歳以上としているのは適正と考えているのか。これまで議論にならなかった理由、また早急に見直す考えがあるのか。②動物の火葬について、環境センターでは収骨はできないものの、動物の火葬を行っているが、動物の焼却炉は有るのか。更に、令和6年から稼働する道央廃棄物処理組合の焼却施設でも動物の火葬

の表明は、現在、関係部署による庁内会議を設置することにも、環境審議会など関係機関の意見を得ながら調整を進めており、市の脱炭素化に対する姿勢を早期に示したいと考えている。

通学路の安全対策

問 PTA連合会から市に提

出された、令和4年度の条件整備要望を確認したが、要望があった新規の場所や状況の確認は行っているのか。また、要望の中で、信号機の設置は時間を要するが、注意喚起の看板や通学路の表示は市の対応で速やかに対応できるのではないか。所見を伺う。

危険と認識している箇所は抽出を依頼したところ、市内21カ所の報告があったが、PTA連合会から提出された条件整備要望の要望箇所が含まれており、過去、専門部会において、現地確認を行っていない6カ所と、同点検の対象となっていない、みどり台小学校区の点検を9月に行った。また、国の通学路点検は、対

象が小学校とされていたことから、条件整備要望のうち、中学校の通学路に関する要望については、担当職員が現地確認を行い、状況を把握している。
なお、車両に対する注意喚起のために設置している看板や、イメージハンブの路面標示など市が実施主体となるものは、既に対策を講じている。

はできるのか伺う。

答 市長 ①火葬料金の年齢区分は、昭和19年の火葬使用料条例の施行時に、既に10歳を基準として使用料を設定しており、現在までその区分を踏襲している。道内や道外の他の自治体でも、10歳を基準としている自治体があることから、当時は適正であると判断したと考えているが、この間、市民生活や社会情勢が大きく変化しており、今後、市の他の公共施設の使用料の年齢区分などを踏まえながら、年齢基準の見直しを検討していく。②環境センターでは、死亡した犬や猫、有害駆除したアライグマや鹿などの動物を焼却処理する専用の施設として、平成6年3月に小動物焼却処理場を設置している。

また、根志越地区で建設している道央廃棄物処理組合の新焼却施設では、組合を構成する2市4町の区域内で死亡した小動物について焼却することを可能としているが、環境センターの小動物専用の焼却施設は、今後10年以上の稼働が見込めるため、引き続き、環境センターで受け入れすることとしている。

地域コミュニティ

問 ①町内会の加入は法的に個人の自由だが、千歳市、社会福祉協議会、町内会連合会等からの市民周知回覧等が町内会に依頼されることから、町内会未加入者への対応について伺う。②町内会や自治会

ク運営委員会で要望している大和地区コミセンは、防災・避難所の観点からも必要と思われるが、整備の現状と完成予定について伺う。

いて、現在も変更はない。
大和地区コミュニティセンターの整備は、当初、令和6年度の供用開始を目指していたが、建設の財源として予定していた国の補助金について、広域焼却施設建設事業と工事時期が重なり、その確保が難しくなったことや、みどり台小学校建設事業などの大型事業の実施により、当面の財源確保が課題となっているため、供用開始を当初の予定から3年程度先送りして令和9年度中の供用開始を目指している。これら供用開始時期の見直しは、令和2年4月に開催された千歳川ブロック運営委員会で説明を行った。
今後も、令和9年度の供用開始に向け運営委員会との協議を行っていく。

で組織している千歳川ブロック

を優先して整備を図ることとする地域とした位置付けにつ



自民党議員会
山口 康弘 議員

用 eスポーツの普及と活

問 eスポーツは、コロナ禍でも行えるなどの優位性や、場所、性別、年齢、身体能力、障がいを選ばない特徴から急速に広がっているが、①現状や取り組み。②観光施設での活用。③イベントの開催や活動拠点の設置、協議会の設立。④高齢者や障がい者に対する取り組みについて伺う。

答 市長 ①本市で講演会やパネルディスカッションが行われ、関係者から交通アクセ



自民党議員会
松倉 美加 議員

画 公共施設等総合管理計

問 地域の人口動態、市民ニーズ、公共施設の配置状況

スの良さなど、地域活性化の可能性を高く評価された。北陽高校では、大会運営者とプロプレイヤーが講師となり、1年生全員が実際のゲームを使ってプログラミングを学び、エキシビジョンマッチでeスポーツの醍醐味も体験した。新千歳空港でも、世界大会が開かれている人気ゲームによる大会が開催されている。②イベントや大会誘致を展開することで、千歳の魅力を知り、宿泊、飲食、観光、お土産につながる取り組みとなるよう、関係事業者等と連携していく。③イベントや大会の誘致と、ゲームの正しい利用方法や理解の啓発を目的とした協議会設立の準備を進める。④認知症予防や社会参加の場の創出から介護予防の

効果も期待されており、来年2月には、北海道と連携して体験会を計画している。障がい者については、特性により集中力を発揮し優秀な成績を収める可能性もあるが、没頭して心身に不調が現れる方もいるため、ゲームの種類や特性に応じた活用方法を調査、研究していく。

アドベンチャートラベル(AT)の現状と今後の展開

問 アドベンチャートラベルワールドサミット(A.T.W.S.)が、アジア圏で初めて北海道で開催され、鈴木知事も、ATがウイズコロナ、ポストコロナ時代における北海道観光の柱の一つになるよう、官民一体で取り組みたいとしている。①市の現状、市街地、農

村地区のATの活性化。②ATルートとの複合化による、市内の回遊性や滞在性の効果。③A.T.W.S.の道内開催による公式ツアーの認定を目指した取り組みについて伺う。

答 市長 ①支笏湖地区で、ATをコンセプトに既存施設の改修や支笏湖アクティビティプログラムの創出を進めている。市街地は、青葉公園埋蔵文化財センターなど文化やアクティビティが体験でき、ビジネス、観光、長期滞在と多種多様な宿泊施設、交通アクセスの優位性を活かした展開の検討を進めていく。また、農村地区は、キウス周堤墓群が所在する歴史文化のスポットで、滞在して地域の人々との交流を通じて自然、文化、生活の魅力に触れるこ

とはATの醍醐味であり、グリーンツーリズム連絡協議会と連携し展開していく。②グリーンツーリズムやエコツーリズム、スポーツツーリズム、フードツーリズムなどを展開し、観光客のニーズに対応した取り組みを進めていく。③ツアーの採択には、支笏湖の自然や環境保全活動、食文化の魅力、世界遺産のキウス周堤墓群、空港や山線鉄橋などの近代遺産といったストーリーを、体験を通じて楽しく英語で伝える必要があるため、関係機関と連携して千歳の魅力を発掘し、ガイドの養成などにも取り組みながら採択を目指し、千歳の魅力を存分に盛り込んだATを世界中に発信できるように、オール千歳で取り組んでいく。

老朽化程度等を調査・把握し、大規模改修や更新、統廃合や複合化、それに伴う財政負担や充当財源等を明らかにし、まずは具体的な方針と数値目標を固め、更に早期に個別施設計画にも着手すべき。また30年先の千歳の未来を背負う世代の職員に計画策定を任せ

てはどうか。

理計画は、将来的な地域別人口や年齢構成などの人口動態、今後の財政状況などを踏まえたうえで具体的な方針を決定していくとしており、数値目標は、長期的な視点での適正な公共施設の配置や統廃合、公共施設全体のあり方などとともに検討していく。

道路や橋梁などのインフラ系公共施設をはじめ、公営住宅などの一部の建築物系公共施設は、国の交付金等を活用し整備を進めるため、既に個別施設計画を策定しているものもあるが、まずは、上位計画となる公共施設等総合管理計画で、施設の統合や廃止、複合化などに関する基本的かつ具体的な方針を示す必要があり、そのうえで、現個別計画の見直しや新たな個別計画

い計画を策定するうえで重要と考えている。公共施設等総合管理計画の見直しには、調査や計画素案の策定などを担当職員として、担当係長に加え、本年10月より新たに主任クラスの若手職員を配置した。今後、基本目標や基本的な考え方のほか、施設類型ごとの管理に関する基本的方針も見直しを検討することか



姉妹都市交流

問 ①今春から、千歳国際・友好都市交流協会が発足したが、目玉事業として、アンカレッジ市と、高校生レベルでの留学制度構想が示された。この進捗状況と今後の見通しについて伺う。②留学費用に関する市の考え方が、個人負担をどの程度求めるかについて、例えば、千歳市奨学金等を活用するなど、可能な限り少額の個人負担で済むよう、お恵を絞るべきと考えるが、

ら、その調査等の過程で、全庁的に若手職員からの意見聴取や、庁内会議への参加などの手法もよく検討していく。

スポーツ施設の適切な管理

問 他市と比べても、市のサッカー場・ラグビー場の芝の損傷が著しい。その要因は何か。造園経験者等の力を借り、

日常からの管理を行えないか伺う。

答 市長 本年秋ごろから、青葉公園サッカー場、ラグビー場で芝の損傷が目立つ状態となった。この要因は、芝の根付近に生息する昆虫の幼虫を狙って、カラスが芝をはがす被害が拡大したためである。カラスによる被害は毎年確認されているが、今回の青

葉公園内の芝の被害は、例年より大きくなっている。

体育施設の芝の管理は、指定管理者である体育協会が、日々の散水や目土などの基本的な管理業務をこまめに行っており、防虫剤散布や刈り込みなど、専門的な知識が必要な業務は、都度、造園事業者からの助言を受けて対応している。また、今回のカラス被

害も、被害の拡大を防止するため、芝面にテグスを張り侵入を防ぐなど、カラス除去に有効な手法を研究し、対応するとともに、競技団体と施設の使用について調整を図り、円滑な施設運営に努めている。

その他の質問
・JALマラソンの開催

所見を伺う。

答 市長 ①千歳国際・友好都市交流協会は、高校生の短期派遣事業と長期交換留学事業の実施に向け、アンカレッジ市ダイモンド高校と協議を重ね、短期派遣事業は、令和5年1月の実施を予定し、令和4年度の当初予算に必要経費の計上を予定している。長期交換留学事業は、世界的にオミクロン変異株が流行しているなか、出入国の規制緩和が不透明なことや、同様の事業を実施している他自治体の実施状況も参考に検討した結果、令和4年度の実施を見送り、令和5年8月からの留学に向けて準備を進めていく。

②私費留学の場合、授業料、ホームステイ代、往復航空券代など約300万円かかる

が、今回の長期交換留学事業は、授業料とホームステイ代が無償のため、個人負担額は約85万円となる。

基金等の活用は、それぞれの基金に目的があるため、他事業への活用は考えていないが、市は、ふるさと千歳国際交流基金から千歳国際・友好都市交流協会へ補助金を支出しており、協会から派遣留学生へ20万円、ダイモンド高校からの留学生の受け入れで約30万円の補助があるため、実質約35万円で10カ月間留学することができることになる。

重要土地等調査法

問 今年の6月に、重要土地等調査法が成立し、来年の秋までには防衛施設周辺1キ口

以内の区域が注視区域として指定、更に司令部機能を持つ駐屯地・基地は特別注視区域と指定されるが、①今後のまちづくりに、何らかの対策を取られるのか伺う。②市長は、実に12個もの国防に係る団体の会長などを務めているが、この法の成立を、市長として国防の観点からどのように捉えているのか伺う。

答 市長 ①国に確認したところ、注視区域や特別注視区域の指定は、審議会の意見を伺いつつ決定するとしており、現時点では、どの施設が区域指定の対象となるかは決まっていないとする一方、本法は、公簿の収集等によって、安全保障上重要な土地等の利用状況の調査を行ったうえで、防衛施設等の機能を阻害

する土地等の利用が明らかになった場合に限り、その利用の中止を勧告・命令するなどの措置を行うことができる枠組みとなっており、本法に基づく措置は、市民の平穏な日常生活や経済活動を妨げるものではないことから、現段階では、市の土地利用に大きな影響はないと考えている。②本法は、国を取り巻く安全保障環境の変化を踏まえて成立したものであり、国防に関する基本的な政策は国の専管事項と認識しており、地方自治体は、こうした取り組みに協力する必要があると考えている。本法の運用に際して、市民生活や経済活動に影響が生じないよう、速やかな情報収集と市民、企業等への適切な情報提供に努めていく。



自民党議員会
坂野 智 議員

入居率の向上

問 ①市営住宅の管理戸数

2406戸のうち、空き家が492戸あり、直近2回の抽選結果では、5月は応募96人に対し落選75人、8月は応募112名に対し落選は90人である。待機組は毎回の応募に50人ほどいると思われるが、空き家の1割程度を稼働して入居率を上げ、多数落選の待機者を減らすことについて、所見を伺う。②価値観の多様化、生活様式の変化で町内会

活動に関心のない人が多くなり、町内会加入率の低下で地域課題解決の活動に支障を来している。加入と未加入の混在で不公平感が伝播し、市住全体で半数以上が未加入となることを危惧する。市営住宅事業者の責務として、事業者だからできる対応について、所見を伺う。

答 市長 ①退居により空き家が生じた際は、速やかに次の入居者受け入れのため整備を行い募集を行っているが、間取りによっては空き家となる戸数が少なく、単身者が応募でき、入居希望の多い1LDKや2DKなどの募集戸数を増やすことは容易ではないが、各団地や住宅の間取り別の応募状況などを踏まえた効果的な整備を行い、希望する

方が早期に入居できるよう努める。②入居が決定した方に町内会入会案内チラシを配布し、町内会活動の意義や活動内容、入会手続きなどを周知しているが、町内会加入は任意であり、市営住宅条例で加入促進を位置づけるのではなく、入居者に毎月配布している市営住宅だよりでも情報提供するなど、加入促進に向け更なる周知に努める。

投票率の向上

問 ①新たな期日前投票所として開設された千歳モール会場で行われた、2回の選挙の投票で、時間帯により待ち列が1時間を超える渋滞があった。この問題分析と改善策を伺う。②投票所入場券は、世

帯の有権者の人数分を1枚につづり郵送されるが、様式郵送方法に規制が無いのであれば、有権者一人一人に個別郵送することで投票機会の創出となり投票率向上にもつながると考えるが、所見を伺う。

答 選挙管理委員会委員長 ①2回の選挙とも店舗の開店時間と同時に行列が出来ており、密集や密接を避けるため入場制限を行ったことから数人の待ち合いが生じた。この対策として、時間別投票状況や混雑情報を、市広報紙やホームページ、投票所入場券送付の際に周知し、SNSなども活用した情報発信も検討していく。また、投票所スペースの拡大や人員確保などの課題を整理し、効率的な運用を図りながら改善に努める。

②18歳を迎えて選挙人名簿に登録した方に、選挙権を得られたこと、一票の行使による政治への参加の必要性について、葉書で啓発を行っている。総務省では、投票所入場券の発送に関する運用やレイアウトの標準化の検討をしているが、現時点では、投票勧奨等のお知らせやチラシを同封でき、入場券の印刷費用が一定程度軽減できて個人単位での発送に比べ送料が安価であることなどの理由から、国の推奨している封書様式・世帯単位発送を採用しており、選挙情報を世帯で共有できるメリットがあると考えているが、国の検討状況なども注視し、有権者に分かりやすい内容の案内と、より有権者の投票につながるよう検討していく。



公明党議員団
平川 美由紀 議員

妊婦歯科健診への助成

問 最近の研究では、歯周病にかかっている母親から歯周

病菌が血液を通して子宮に入り、早産や低体重児出産の危険性が通常の約7倍に高まることから分かってきた。妊娠中は、ホルモンバランスや食生活の変化などにより口腔環境が変化し、むし歯や歯周病になるリスクも高くなる。健やかな妊娠と出産の支援のため、妊婦が無料で歯科健診を受けることができる仕組みを

作ってはどうか。所見を伺う。
答 市長 市では、妊娠することにより、むし歯や歯周病のリスクが高まることから、マタニティスクールで妊娠中の歯や口腔の健康づくりについて、歯科衛生士の講話を行っているっており、その中で歯科健診への受診を勧めている。また、平成29年度から、マタニティ歯科・栄養相談をマタニティ

スクールと同日に実施し、歯や口腔に関する悩みなど個々の状態に合わせて、相談に応じていく。妊婦は、日頃から口腔の健康管理を行うことが重要であり、歯科健診の受診は、むし歯や歯周病の早期発見、早期治療につながる。また、妊娠中でも歯や口腔のケアを適切に行えること、妊婦自身だけではなく、生まれ

帯状疱疹ワクチン接種への助成

問 帯状疱疹は、子供の頃にかかった水ぼうそうのウイルスが体の中で長期間潜伏感染

てくる子どもへの口腔の健康管理を意識するきっかけとなることなどから、妊婦歯科健診の実施について、今後、費用助成を含め検討していく。

し、加齢や疲労で免疫が低下した際などに発症する。日本人の成人の約9割は体内にウイルスが潜伏しており、50歳以上になると発症のリスクが上がり、80歳までに約3人に1人がかかるといわれている。带状疱疹を予防するワクチンの接種費用は高額なため、心身ともに健康な市民の増加に努める千歳市として、

带状疱疹ワクチン接種の助成金制度を取り入れてはどうか。所見を伺う。

答 市長 带状疱疹は、加齢や疲労、ストレスや病気などにより免疫の働きが低下することで、体内に残っている水ぼうそうのウイルスが再び活性化して発症するとされ、患者数は、毎年、約60万人と推定されている。また、带状疱疹

疹の合併症の一つである、带状疱疹後神経痛は、人によって痛みの症状や程度は異なるが、中には皮膚に服が触れるだけでも強い痛みが出たり、痛みで夜も眠れないなど、日常生活に支障を来す場合があり、より早期に治療を開始することが重要とされている。

現在承認されている带状疱疹

ワクチンには、生ワクチンである水痘ワクチンと不活化ワクチンである带状疱疹ワクチンの2種類があり、どちらも50歳以上の方が任意接種の対象となっている。これらのワクチンは、带状疱疹の発症や重症化の予防として有効とされているが、国は、ワクチンの定期接種化については、期待する効果や導入年齢につ

いて引き続き検討が必要としており、現在、国の審議会において、水痘ワクチンを定期接種とする議論が進められていることから、引き続き、国の動向を注視していく。



公明党議員団
仲山 正人 議員

気象庁との連携

問 近年、自然災害が激甚化している。今年、日本の各地の災害をみても、過去に経験の無い事象が発生し、気象庁や自治体が人命を守るため、身に迫る危機を伝えている。当市においても、防災関係機関等と一層の連携強化策に取り組んでいると思う。安心・安全な地域生活を送る上で、気象情報は欠かせない情報であり、気象庁との連携は非常に重要な施策と考えるが、地元

気象台との連携状況について伺う。

答 市長 毎年一度、札幌管区気象台の気象防災部長と面談の機会があり、その際に、気象台と地域との連携について直接意見交換を行っているほか、担当者レベルでも、定期的に千歳地域の担当官が来庁し、危機管理課担当者との間で実務的な事項の確認を行うなど、日頃から密接な関係を構築している。また、地域防災計画など、防災に関する各種計画や、マニュアル等の修正に当たっては、気象台が持つ専門的な知見をもとに、本市の地域特性を踏まえたさまざまなアドバイスをいただいているほか、大雨等の警報発令時には、都度天候の見通しなどに関する詳細な情報提

供を受けるなど、市の防災減災対策に多くの協力をいただいている。

問 国は、今年6月に通学路で子どもたちが犠牲となった悲惨な事故を重く受け止め、全国の公立小学校の通学路を対象とした合同点検を行った結果、市が危険と認識している箇所が21カ所あり、10月末頃までに交通安全対策が必要な箇所の対策内容を決定すると伺った。①来年4月開校予定のみどり台小学校区の、危険箇所件数と開校前までに対応可能なのか伺う。②みどり台小学校区の通学路は速度制限が必要と考えるが、所見を伺う。

通学路安全対策

答 市長 ①みどり台小学校開校準備委員会において、交通安全対策が特に必要な箇所として、5カ所の提示があったことから、市が設置している、千歳市安全で住みよいまちづくり推進協議会の通学路交通安全対策専門部会において、通学路の合同点検の日程に合わせて、本年9月に現地確認を行った。これらの箇所は、このほど公安委員会において、南28号道路と東5線の交差点に信号機が設置されたほか、道路管理者である市は、当該交差点に車止めと北信濃中通と東5線の交差点にガードパイプを、それぞれ設置した。今後も、スクールゾーンの表示など、市が実施主体となるものは、可能な限り開校までに対応していく。②みど

り台小学校区の通学路となる南28号道路は、毎年、千歳警察署を通じて公安委員会に出している交通規制等要望書において、先般設置された信号機のほか、南28号道路と東4線の交差点付近における速度規制について要望を行っているが、このたび、千歳警察署から、道路の幅員や周辺の環境などに鑑み、南28号道路の最高速度を時速50キロメートルとする規制を、開校までに実施する予定であるとの連絡があった。

今後も、児童等の交通安全の確保を図るため、市内通学路の交通安全対策を推進していく。

その他の質問
・ 地方版マイナポイント

その他の質問
・ 新型コロナウイルス感染症の対応 ほか

議決結果概要・議案についての賛否など

「○」＝賛成 ※議員番号「1」山崎昌則 議員は、議長の
 「×」＝反対 ため賛否は「-」としています。

件名・議案賛否・議決結果		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	委員会	議決結果		
		山崎昌則	渡部謙太郎	北原偉男	岩瀨順郎	丸岡伸幸	吉谷徹	森野章一	飯田盛好	大山益巳	山口康弘	松倉美加	北山敬太	松隈早織	相沢晶子	小林千代美	五十嵐桂一	佐々木雅宏	古川昌俊	坂野智	今野正憲	平川美由紀	仲山正人	宮原伸哉				
議案第1号	令和3年度千歳市一般会計補正予算について(第7回)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	補正予算特別	原案可決	
議案第2号	令和3年度千歳市国民健康保険特別会計補正予算について(第1回)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	補正予算特別	原案可決
議案第3号	令和3年度千歳市介護保険特別会計補正予算について(第3回)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	補正予算特別	原案可決
議案第4号	令和3年度千歳市病院事業会計補正予算について(第2回)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	補正予算特別	原案可決
議案第5号	千歳市一般職の任期付職員採用及び給与の特則に関する条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決	
議案第6号	千歳市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決	
議案第7号	千歳市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決	
議案第8号	千歳市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案第9号	千歳市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	厚生環境	原案可決
議案第10号	千歳市認定こども園条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	厚生環境	原案可決
議案第11号	千歳市児童館条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	厚生環境	原案可決
議案第12号	千歳市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	厚生環境	原案可決
議案第13号	千歳市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案第14号	千歳市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案第15号	千歳市個別排水処理施設の整備に関する条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案第16号	指定管理者の指定について(千歳市青少年会館)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案第17号	指定管理者の指定について(千歳市スポーツセンター、千歳市体育施設、千歳市開基記念総合武道館)	-	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案第18号 議案第20号	指定管理者の指定について(千歳市温水プール、美苗キャンプ場、千歳市営牧場・千歳市育成畜舎)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案第21号	指定管理者の指定について(千歳市東雲会館、千歳市末広会館)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	厚生環境	原案可決
議案第22号	指定管理者の指定について(千歳市公共広場、千歳市都市公園)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案第23号	指定管理者の指定について(千歳市交通安全教育施設)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	厚生環境	原案可決
議案第24号	指定管理者の指定について(千歳市グリーンベルト地下駐車場)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案第25号	財産の処分について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務文教	原案可決
議案第26号	市道路線の認定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	産業建設	原案可決
議案第27号	令和3年度千歳市一般会計補正予算について(第8回)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第28号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
諮問第1号 諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可と決定
意見案第1号	地方財政の充実・強化に関する意見書	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
意見案第2号	義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決

◎議会の要望活動

JR長都駅前地区に、交番の設置を要望しました。

11月19日（金）に、山崎議長、小林副議長、仲山厚生環境常任委員長および飯田同副委員長が、横田副市長とともに千歳警察署を訪問し、8回目となる、JR長都駅前への交番設置を求める意見書を、岡田千歳警察署長に手交しました。



岡田署長（左）に意見書を手渡す山崎議長（右）

その後、北海道警察本部を訪問し、本間地域部参事官兼地域企画課長にJR長都駅前への交番設置を求める意見書を手交し、改めて、交番設置の早期実現を強く要望しました。



本間地域部参事官兼地域企画課長（左）に意見書を手渡す山崎議長（右）

◎議員連盟の活動

千歳市議会観光議員連盟は、11月4日（木）に千歳観光連盟との意見交換会および視察研修を行いました。

初めに、当市の観光拠点である北海道観光ステーションを視察し、キャンプ用品や宿泊施設、貸し事務所や貸し駐車場を見学した後、コロナ終息後の観光の展望について意見交換を行いました。



千歳観光連盟と意見交換

その後、支笏湖に新設されたヒメマスふ化場防波堤や、ヒメマスの捕獲から採卵、受精までの一連の作業を視察し、観光資源の活用に対し見識を高めました。



ヒメマスの採卵作業の様子

本会議・各委員会の議員出欠状況

令和3年1月1日から令和3年12月31日までの間に開催された、

- ①本会議（定例会・臨時会）
- ②特別委員会（予算・決算・補正予算特別委員会および千歳科学技術大学の公立大学法人化に関する調査特別委員会）
- ③常任委員会等（総務文教・厚生環境・産業建設常任委員会および議会運営委員会）

の議員出欠状況（回数）をお知らせします。なお、議員出欠状況の詳細は、市議会ホームページでもご覧いただけます。

議席番号 ・議員名	①本会議		②特別委員会		③常任委員会等	
	出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席
1 山崎 昌則	27	0	4	0	4	0
2 渡部謙太郎	20	0	9	0	17	0
3 北原 偉男	20	0	8	0	20	0
4 岩満 順郎	27	0	11	0	21	0
5 丸岡 伸幸	20	0	7	0	10	0
6 吉谷 徹	26	1	13	0	32	0
7 落野 章一	27	0	12	0	14	0
8 飯田 盛好	27	0	11	0	21	0
9 大山 益巳	26	1	11	0	13	1
10 山口 康弘	27	0	9	0	32	0
11 松倉 美加	27	0	6	0	32	0
12 北山 敬太	27	0	8	0	26	0

議席番号 ・議員名	①本会議		②特別委員会		③常任委員会等	
	出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席
13 松隈 早織	27	0	9	0	21	0
14 相沢 晶子	20	0	8	0	10	0
15 小林千代美	27	0	9	0	21	0
16 五十嵐桂一	27	0	9	0	15	0
17 佐々木雅宏	27	0	7	0	21	0
18 古川 昌俊	27	0	9	0	24	0
19 坂野 智	27	0	8	0	14	0
20 今野 正恵	27	0	8	0	21	0
21 平川美由紀	27	0	11	0	26	0
22 仲山 正人	27	0	10	0	24	0
23 宮原 伸哉	27	0	9	0	13	0

（注1）②と③の回数については、各議員の特別委員会、常任委員会および議会運営委員会への委員の就任状況により異なります。

（注2）佐々木雅宏前議長（令和3年6月19日付議長退任）および山崎昌則議長（令和3年6月25日付議長就任）は、申し合わせにより議長就任中は常任委員会委員を辞退しています。

（注3）令和3年は改選期のため、出欠状況は、改選後に在籍する市議会議員に係る出欠状況を掲載しています。このため、新たに市議会議員となった議員は、議員就任後の令和3年6月20日から12月31日までの出欠状況を掲載しています。

（注4）千歳科学技術大学の公立大学法人化に関する調査特別委員会は、令和3年3月23日（火）に所定の報告を行い調査を終了しました。

「第9回 市民の声を聴く会」の 「中止」について

「広報ちとせ1月号」や「市ホームページ」などでご案内しておりました、2月3日（木）開催予定の「第9回 市民の声を聴く会」につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大していることから「中止」することといたしました。

開催をお待ちいただいた皆様には大変申し訳ありませんが、ご理解賜りますようお願いいたします。

なお、来年度の開催につきましては、改めて検討の上、議会だよりなどでお知らせいたします。

《問い合わせ》 千歳市議会事務局 電話：24-0773 または 24-0793
FAX：24-3322
メール：gikaisomu@city.chitose.lg.jp

議会事務局からのお知らせ

★ホームページのご案内



市議会のホームページには、市議会のさまざまな情報を掲載しています。

★議会の予定

令和4年第1回定例会は、3月1日（火）に開会する予定です。
正式な日程は、議会運営委員会
で決定後、ホームページやポスター
でお知らせします。

★表紙を募集しています！

市議会だより（年4回：2・5・8・12月発行）の表紙を飾る写真や絵、イラスト等を募集しています。千歳の四季や季節の行事をイメージできるものがありましたら、ご応募をお待ちしております。

（問い合わせ先）

千歳市議会事務局 総務課 調査係
TEL 0123-24-0791（直通）
E-mail:gikaisomu@city.chitose.lg.jp

★点字・音声版市議会だより

目の不自由な方のために、市議会だよりの内容を点字・録音したものを作成しています。

希望される方は、点字図書室までお問い合わせください。



（問い合わせ先）

千歳市総合福祉センター2階
点字図書室 TEL 0123-27-3921

編集後記

ちとせ市議会では、市民の皆様にも市議会のことをより深く理解していただくために、さまざまな取り組みを行っています。

ちとせ市議会だよりも、今回から新たな仕組みを取り入れていきます。各議員の写真の下にQRコードを付けるようになります。スマートフォンなどで読み込んでいただくと、その議員の質問の内容を紙面上の要約した文章だけではなく、動画でも確認することができます。どうぞご覧ください。

その他、議場を飛び出して中学生と交流させていただいたり、市民の声を聴く会の開催など積極的に活動しています。

今後も、市民の皆様にかりやすい議会を目指してまいります。

（編集委員 北原 偉男）

議会報編集委員会

委員長 山口 康弘
副委員長 仲山 正人
委員 北原 偉男
相沢 晶子
吉谷 徹

市議会だよりは、再生紙と植物インキを使用しています。